

平成 2 2 年度

芦別市財政健全化審査意見書  
芦別市経営健全化審査意見書

芦 別 市 監 査 委 員

## 平成 2 2 年度 芦別市財政健全化審査意見

### 1 審査の対象

市長から提出された、健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が、適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

### 2 審査の期間

平成 2 3 年 7 月 2 5 日から同年 8 月 3 1 日まで

### 3 審査の結果・意見

審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

健全化判断比率は、下記のとおり、全ての比率において早期健全化基準を下回っているが、今後とも一層の行財政改革を推進し、適切な財政運営を期待する。

記

(単位: %)

健全化判断比率名	平成 2 2 年度	早期健全化基準	平成 2 1 年度	早期健全化基準
実質赤字比率	— (△2.40)	14.07	— (△3.58)	14.20
連結実質赤字比率	— (△14.22)	19.07	— (△17.77)	19.20
実質公債費比率	12.1	25.0	12.9	25.0
将来負担比率	160.7	350.0	193.0	350.0

※ 「—」は、実質赤字額又は連結実質赤字額がないことを示している。  
参考として黒字の比率を（ ）に△表示している。

## 平成 2 2 年度 芦 別 市 経 営 健 全 化 審 査 意 見

### 1 審査の対象

市長から提出された、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が、適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

### 2 審査の期間

平成 2 3 年 7 月 2 5 日から同年 8 月 3 1 日まで

### 3 審査の結果・意見

審査に付された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

また、全ての会計において資金不足が生じていないが、市立芦別病院事業会計においては、不良債務が発生する見込みもあることから、更なる経営健全化に努め、適切な事業運営を期待する。

記

(単位：%)

会 計 名	平成 2 2 年度 資金不足比率	経営健全化基準	平成 2 1 年度 資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0	—	20.0
市立芦別病院 事業会計	—		—	
新城町簡易水道 事業特別会計	—		—	
西芦別地区簡易水道 事業特別会計	—		—	
下水道事業 特別会計	—		—	

※ 「—」は、資金不足がないことを示している。